

# インタビュー ドット型協働 Dからはじまるまちづくり

# 3

## 15年以上続く協同の取り組みから

### 編集部

本日はフードバンクしまね あつたか元気便（以下、フードバンクしまね、または、しまねと略記）の大木理之さん、野津久美子さん、吉川郁子さん、玉城千佐子さんにお話ををお伺いします。フードバンクしまね設立の経緯からお聞かせください。15年以上前から続く協同<sup>1</sup>のとりくみの中から生まれたとか？

### しまね

2008年頃、松江保健生協と生協しまねで一緒に何かできないかと、理事レベルの話し合いをもちました。そこで「自分たちの団体を一歩出て、共通の地域課題とともに考えることって大事だね」ということになり、研究会を立ち上げました。研究会で高齢者1,000人アンケートを実施し、その後JAくにびき・JA島根中央会や松江市社会福祉協議会があらたに加わるなかで活動学習交流会を開催しました。さらには地区社協会長会や島根県社会福祉協議会が参加し「地域ケア連携推進フォーラム」を開催する中で、日常的拠点をつくろうと「地域つながりセンター（以下、つながりセンター）」を2014年に開設しました。構成団体は松江保健生協・出雲医療生協・ひかわ医療生協・生協しまね・JAしまね・有償ボランティアおたがいさま6か所（オブザーバー：松江市社会福祉協議会、島根県社会福祉協議会）の計11団体で、事務所はJAしまね津田支店の2階にあります。

### 編集部

世の中的には顔の見える連携などと言われていますが、2014年に日常的な拠点（場）までつくっちゃったんですね。

### しまね

つながりセンターをつくったことで、具体的な活動がさらにすすみました。地域連携の事業として2016年より「なないろ食堂」をはじめました。日頃の話し合いの

特定非営利活動法人  
フードバンクしまね あつたか元気便

聞き手：江本 淳  
本誌編集担当：会員支援部

場から、生まれた協同の活動です。子どもが一人でも来られるところ、遊んだり宿題ができるところ、子どもも大人もいっしょにつくって食べられるところ、そんな場所になればいいなという気持ちではじめました。場所は松江保健生協が提供してくれました。リハビリテーション病院を老人保健施設に転換した時にできた空きスペースです。現在は、小学校・中学校・公民館を利用し、地域みんなの居場所として開催しています。

なないろ食堂を実施するなかで、利用が広がっていくことはもちろん嬉しいことでしたが、日々の食事に困っている人に十分届いていない、という懸念がありました。そこで、経済的な困窮を抱える就学援助世帯の子どもたちと家族にお米や食品等を提供し、元気と安心を届けることを通して孤立を防げればと「フードバンクしまね あつたか元気便」を開始しました。2022年からは「子どもの笑顔応援募金」も開始しました。これまでの経過を整理したものが資料1です。

### 編集部

今ご紹介いただいたそれぞれの事業・活動が気になるところですが、誌幅の関係でフードバンクしまねを中心にお伺いします。フードバンクしまねはNPO法人なんですね？

### しまね

2018年に島根県松江市で準備会を発足し、就学援助利用世帯を対象に給食のない長期休暇期間に宅配便で食料を届ける活動を続けてきました。2019年に任意団体としてフードバンクしまねあつたか元気便を設立、2022年8月からは特定非営利活動法人として、食料を届けるだけでなく、子どもたちの体験づくりや学習支援などの事業も行っています。

私たちがやっていることは食品を届けることだけではなく、食べ物の宅配を通して利用世帯とつながり、困りごとを相談できる人が地域にいるということを知らせる、地域の関係性をつくる活動です。時系列でまとめると次のようになります。

<sup>1</sup> 本稿では協同組合同士（協同組合を母体とする団体を含む）の連携を「協同」、協同組合の枠をこえた連携を「協働」と表現しています。

HeW CO-OP

# Review and Research

医療福祉生協連 理論誌

Vol. 41  
2024  
December

## 特集 孤独・孤立へのアプローチ

### 巻頭言

孤独・孤立の解消に向けて～地域の繋がりの再考～ 02  
小山 宰 青森県立保健大学

### 特集解題

1 ひとり社会のゆくえ  
—増加するミドル期シングルにフォーカスして— 04  
宮本みち子 放送大学／千葉大学 名誉教授

2 認知症とともに生きる地域をめざして 12  
小泉 麻利 盛岡医療生活協同組合 飯岡・永井地域包括支援センター 社会福祉士

3 インタビュー  
ドット型協働  
Dからはじまるまちづくり 18  
特定非営利活動法人 フードバンクしまね あつたか元気便

### 会員生協実践レポート

生活協同組合の強みを追求し、地域に貢献する 26  
塩見 有生 阪神医療生活協同組合 地域活動サポートセンター長